キャラクター名: 山居 圓 "ヤマイ ツムラ"

プレイヤー名:

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	無職
オプショナル		年齢	40歳	性別	男
覚醒	償い	衝動	破壊	初期侵食率	42 %
出自	天涯孤独	経験	聖人殺し	邂逅	煙の無い火

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	0			5
感覚	1	0	0			1
精神	1	0	0			1
社会	2	0	0			2

HP	31
行動値	3
(非装備時)	3
戦闘移動	8
全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
黒縄等活	白兵	14r+12	1	15		100以下
大炎熱	白兵	16r+15	1	16		100以上
阿鼻無間	白兵	16r+15	1	16		究極獣化

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
イフリートの腕	
思い出の一品	
コネ：UGN幹部	
コネ：情報屋	
コネ：手配師	
コネ：要人への貸し	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
遺産継承者:イフリートの腕	P	N		
瑞希	P 庇護	N 悔悟		
選択の随身 -オプティミスト-	P 友情	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
氷の回廊	1	1	マイナー	至近	自身	ー		
効果：	飛行状態で戦闘移動。							
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	ー		
効果：	肉体ダイス+lv+2個。							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	ー		
効果：	素手変更。攻撃+lv+8。ガード1。							
竜鱗	2	3	リアクション	至近	自身	ー		
効果：	装甲+lv＊10							
コンセ:ハヌマーン	2	2	メジャー	至近	ー	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ		
効果：	いつもの							
音速攻撃	1	2	メジャー	至近	単体	白兵		
効果：	ダイス+lv個。							
援護の風	5	2	オート	視界	単体	ー		
効果：	ダイス+lv個。							
ウィンドブレス	2	2	オート	視界	単体	ー		
効果：	達成値+3＊lv							
究極獣化	4	4d10	マイナー	至近	自身	ー	120↑	
効果：	攻撃+lvD。装甲+10。							
限界突破	1	3	セットアップ	至近	自身	―	80↑	
効果：	1ラウンド1回までのエフェクトが2回まで使えるようになる。1シナリオlv回。							
軽功	1							
効果：								
鋭敏感覚	1							
効果：								
効果：								

「やだ――――死にたくない」
嗚咽の混じった少女の声に、ふと我に返った。
……そうだ、誰だって死にたくないんだよな。
胸の内を灼き焦がし、四肢に熱を通わせていたその感情が、急速に冷めていくのを俯瞰した。
身を翻すと扉を蹴破り野外に出る。
脱兎のごとく、夜深くの山中を駆け巡った。
剥き出しの足裏を小石が鋭く切り裂く。
冷え切った身体を叩く雨粒を弾き返すように、笑い声を響かせながら走った。

メインウェポンとするのは己の拳。
いや、正確に言えば彼の両腕はとある密教寺院から盗み出した遺物であり、己のモノではもはや無いのだが。
二つ名は≪火の無い煙 "シムーン"≫。
砂漠を吹き荒ぶ颶風が如く、拳の乱打を苛烈に見舞う。
中国拳法の達人である彼の掌底はその威力を減衰することなく相手の体内へと波及させ、内臓をズタズタに破壊する。
体組織を自在に透過する発勁の一撃は、傷跡を身体の表面に残さず、くずおれた敵は傍からだと眠っているかのようにも見えるだろう。
皮膚は罅割れ黒ずみ、枯れ枝のように細く痩け落ちた手。
肩から先、両腕を堕ちたる魔神に憑りつかれており、その組成は既に人外のモノへと置換されてしまっている。
日常生活では極力手袋や服の袖で隠してはいるが、布を捲ると木乃伊のそれと違わぬ姿が現れる。
起動句「神は偉大なり」を唱えることで憑依した悪魔が目醒め、黒き双腕からは煙の無い火が噴き上がる。